

シラバス

| | | | | | |
|-----|---------|-----|-----|-------|-------|
| 教 科 | 科 目 | 単位数 | 学 年 | コ ー ス | 組 |
| 国 語 | 言 語 文 化 | 2 | 1 | / | 1～10組 |

| | | | |
|-----|----------------|-----|--|
| 教科書 | 「精選 言語文化」(三省堂) | 副教材 | 「読解を大切にする 体系古典文法」(数研出版) 「読んで見て覚える重要古文単語315」(桐原書店) |
| | | | 「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店) ほか |

| | |
|-------|--|
| 科目の目標 | <p>1. 文学に幅広く触れ、多様な見方・考え方・感じ方を知ることで、物事を多角的に捉えることのできる人間性を養う。</p> <p>2. 言語による伝え合う力を確かなものとするため、話す・書くといった表現活動と、聞く・読むといった理解活動に取り組むことで、他者との対話に生きる体系的な国語力を身につける。</p> <p>3. 文学と言語を総合的に学習し、国語に関する知識を深め関心を高めることで、国際社会に生きる実践的な国語力を身に付ける。</p> |
|-------|--|

| | |
|-------|--|
| 科目の概要 | <p>1. 上代から近現代まで幅広い時代の文学作品を通して、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにするとともに、文学作品を読み味わう楽しさを知る。</p> <p>2. 言語事項について、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等の知識を身に付ける。</p> <p>3. 文章の読解について、その内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉える力を養う。</p> |
|-------|--|

| 観点別評価 | | | |
|-----------------------|--|--|--|
| 3 観 点 | ○「知識・技能」 | ○「思考力・判断力・表現力」 | ○「主体的に学びに向かう態度」 |
| 10 の 力 | ①「知力・学力」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」 | ②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」 | ②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」 |
| 観 点 の 評 価 | ○言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できたか。 ○古典を読むために必要なきまりや、古典特有の表現などについて理解できたか。 ○使用する言葉を増し、語感を磨き語彙を豊かにできたか。 | ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえることができたか。 ○文学作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができたか。 ○自分の体験や思いが効果的に伝わるよう文章の構成、文体、描写などの表現の仕方を工夫して表現することができたか。 | ○作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えを持つことができたか。 ○言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、自分の思いが効果的に伝わるよう表現の仕方を工夫して表現することができたか。 ○読書の意義と効用について理解できたか。 |
| 評 価 の 方 法 | ○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。 | ○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。 | ○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、各学期末の平常点で評価する。 |

シラバス

| 学 習 計 画 | | |
|-------------|---|---|
| 学期 | 学 習 内 容 (単 元) | 単 元 別 学 習 目 標 |
| 1 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ・「日本語の表記法」P 17～22 ・古文入門 P 30～31 ・古文入門 P 35～37 ・『竹取物語』P 62 <p style="text-align: center;">【1学期 中間試験】 5月20日～23日</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名づかい ・品詞、活用形、係り結びの法則 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用 ・頻出単語315 第1章 動詞 <p style="text-align: center;">書き下し文、返り点</p> <p style="text-align: center;">基本構造</p> <p style="text-align: center;">置き字、返読文字、也の読み方</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・『絵仏師良秀』P 32～33 ・『漁父之利』P 146～147 ・『借虎威』P 148～149 <p style="text-align: center;">【1学期 期末試験】 7月1日～5日</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の接続と活用 ・助動詞①ず、き、けり、つ、ぬ、たり、り ・頻出単語315 第1章 形容詞・副詞 <p style="text-align: center;">再読文字</p> |
| 2 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ・『徒然草』「奥山に、猫またといふものありて」 ・『十八史略』「先従隗始」P 158～159 <p style="text-align: center;">【2学期 中間試験】 10月15日～18日</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞②る、らる、す、さす、しむ、まし、む、むず ・頻出単語315 第2章 動詞 <p style="text-align: center;">句法①使役・否定</p> <p style="text-align: center;">句法②受身・疑問</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の表現 P 178～179 ・「静夜思」P 180 ・「送元二使安西」P 182 ・和歌の世界へ P 94～96 ・和歌の修辞 P 90～93 ・「万葉集」P 78 ・「古今和歌集」P 82 ・「新古今和歌集」P 86 ・季語と歳時記 P 277～280 ・「いくたびも－俳句十六句」P 272 ・短歌の近代 P 269～271 ・「その子二十一－短歌十六首」P 264 <p style="text-align: center;">【2学期 期末試験】 12月2日～6日</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩 ・和歌 ・俳句 ・短歌 ・頻出単語315 第2章 形容詞・副詞 |
| 3 学 期 | <p>副教材や模試の問題を活用して、3学期までに身に付けた知識の使い方を学んでいく</p> <p style="text-align: center;">【3学期 学年末試験】 3月4日～8日</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・古文 初見問題演習 ・漢文 初見問題演習 |